

【平成30年8月16日実施】

身体障害者補助犬法に基づき認定される「補助犬（身体障がい者補助犬）」とは、目や耳や手足に障がいのある方の生活をお手伝いする「盲導犬」「聴導犬」「介助犬」のことを言い、身体に障がいのある方の自立と社会参加に欠かせない存在です。

そこで、補助犬の理解を一層進めていくため、現状の課題とその解決策について、グループとしての意見をまとめてください。

【平成30年8月17日実施】

平成28年6月2日に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」における「希望出生率1.8」に向けた取組の方向では、若者の希望する結婚が、それぞれ希望する年齢で叶えられるような環境を整備することが重要とされています。

そこで、このような環境が必要とされる社会的背景を踏まえつつ、地方公共団体として取り組むべき具体的な施策について、その必要性や意義を含めて、グループとしての意見をまとめてください。

【平成30年8月20日実施】

ひきこもりとは、様々な要因の結果として、社会的参加を回避し、原則的には6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態を示す現象概念です。

平成28年度の内閣府調査では、全国での15歳から39歳のひきこもりの推計が約54万人にのぼるとされており、また、7年以上ひきこもっている状態である人が34.7%とされています。

ひきこもりの長期化は、当事者の身体的ならびに心理・社会的な「健康」に深刻な影響を与えるとともに、見通しの立たない事態に家族が大きな不安を抱えるようになります。

こうしたことを防ぎ、当事者の社会復帰を進めていくためには、当事者や家族に対してどのような支援が必要であるか、ひきこもりの長期化の問題点を含めて、グループとしての意見をまとめてください。